

林 智良
法学研究科・教授

[研究]

ポーランドの雑誌”Acta Universitatis Lodziensis”(査読つき)に19世紀日本におけるローマ法教育についての英文論説を発表した。「前近代メディアとコミュニケーション研究会」及び「日本ローマ法研究会」にて口頭発表を行った。科研費研究プロジェクト「世界的文脈から見た日本のローマ法研究受容と発展とに関する総合的比較研究」の研究代表者を務め、2023年3月19日には、研究活動の一環としてベルギー・リエージュ大学ジェルカン教授の研究発表会(会場は大阪大学)を組織した。

[教育]

全学共通教育科目「法の世界」、法学部専門科目「法学の基礎(オムニバス担当)」・「ローマ法」・「専門演習」、大学院法学研究科科目「ローマ法」・「ローマ法特殊講義」を担当した。

[管理運営]

国際公共政策研究科講座担当、全学共通推進機構兼任教員、法学教官会幹事を務めた。

[社会貢献]

奈良県上牧町の政治倫理審査委員を務めている。2022年末まで関西六大学準硬式野球連盟会長を務めて、各種会合及び開会式等に出席した。